

令和 4 年度
菊池市総合計画外部評価委員会
答 申 書

令和 4 年 10 月
菊池市総合計画外部評価委員会

1. 総評

第2次菊池市総合計画後期基本計画の施策について外部評価を実施した結果、後期基本計画4年間の総合評価としては、新型コロナウイルス感染症により、人の移動が制限され、特に観光や交流活動の施策において大きな影響を受けた。しかしながら、オンラインを活用した誘致活動、交流会、イベント等新たな手法を取り入れながら、将来像の実現に向けて取り組み、一部実施できなかったものもあったが、概ね目標に達していることを確認できた。

特に、商工業の振興においては、企業立地件数が年々順調に推移し、160%の達成率となった他、市内3高校との連携においては、子ども達への高校の魅力のアピールだけでなく、新たな菊池高校のまちづくりイベントを連携して行い、全国的な注目が集まる等、生徒を主体とした地域課題解決の取組が認められた。

一方で、近隣市町への半導体関連企業の進出により、菊池市にとってはまたとない好機を迎えている。このような好機を生かし、先を見据えた取組を進めるとともに、全ての分野において時代の急速な変化に沿った柔軟な対応が求められている。

引き続き、今回の評価を通して抽出された課題や意見をこれからの取り組みの改善に繋げ、よりよい菊池市の発展に寄与されることを期待する。

- 農業の振興については、農家の高齢化が進んでいるため、集落営農や法人化、新規就農者への支援は引き続き行っていくとともに、農家や宿泊施設と連携した収穫体験等の体験型観光を推進し、新規就農等に繋がることを期待する。
- 有害鳥獣の増加については、捕獲による駆除や集落や田畑等に侵入しないような対策はもちろんであるが、市民全体で取り組む必要があるため、市民がどのようなことに気を付けるべきか等、積極的に情報を発信していただきたい。
- 商工業の振興については、近隣への半導体関連企業の進出による追い風を生かしてさらなる商工業の振興に取り組むとともに、工業分野にすすむ人材を育成することを期待する。
- 3つの高校の魅力化については、市内の子ども達へ各高校の魅力を伝える取組を引き続き行いながら、市外からも呼び込むための取組を高校と連携して行っていただきたい。
- 生涯学習の推進についてはコロナ禍でも良く工夫され、子どもから大人まで学べる機会が提供できている。今後、新たに策定された生涯学習基本計画のさらなる周知と、生涯学習の取組を市内外にアピールしていただきたい。

- 学校教育の充実については、子ども達の学力の向上が課題であるが、この数カ年課題状況が改善していない。「家庭学習の習慣が定着していないことも理由の一つ」という分析がなされている。各学校の特徴や傾向を分析し、それに応じた対応に取り組んでいただきたい。
- スポーツの振興については、充実したスポーツ施設を生かした各種大会が誘致できているため、市内宿泊や観光に繋がるよう、観光分野と連携し、競技団体等へ積極的に支援や情報提供を行っていただきたい。
- 国際交流の推進については、在住外国人との交流活動はもとより、年々増加する外国人に対して、暮らしに関する情報提供や支援を引き続き行っていただきたい。また、国内交流においては、若い世代同士の交流が増加することを期待する。
- 男女共同参画社会の実現については、女性の活躍の場を広げるために、審議会等における女性の登用率が向上するよう、登用までの流れを再度見直し、積極的に推進していただきたい。
- 高齢者福祉の充実については、高齢者の交流の場である地域サロンがコロナの影響を受けており、加えて運営する側の高齢化も進んでいる。地域のリーダーを育成し、さらに地域と連携して取り組んでいただきたい。

2. 外部評価委員会委員名簿

※外部評価委員会は、下記の7名（学識経験者1名、各種団体等6名）で構成

役職	氏名	備考
会長	上野 眞也	熊本大学 名誉教授
委員	荒木 孝子	菊池市農地利用最適化推進委員
委員	合志 和洋	菊池観光協会 会長
委員	古津 理恵	菊池市子ども会育成協議会 会長
委員	加來 留	菊池市社会福祉協議会 事務局次長
委員	森 智保美	菊池市教育委員
委員	大石 顕寛	熊本県県北広域本部 振興課長